

# データ保護の高度化とサイバーレジリエンスの強化 成長戦略を支えるモダンなバックアップ環境の実現へ

## NTT DATA

### 業界:テクノロジー

#### 導入前の課題:

- 大規模プライベートクラウド環境のデータバックアップのモダン化
- バックアップジョブの作成などデータ保護にかかる運用負荷の低減
- サイバーレジリエンスの強化

#### 導入効果:

- シンプルでモダンなデータ保護環境とサイバーレジリエンスの強化を同時に実現
- バックアッププロセスを高速化し所要時間を最大70%削減
- 重複排除率80%を達成
- 「SLAドメイン」によりバックアップポリシーを適用しジョブ作成の工数を実質ゼロに

#### ITトランスフォーメーションの成果:

国内グループ会社およそ70社、8万ユーザーが利用する大規模プライベートクラウド環境のバックアップシステムをRubrik アプライアンスにより刷新。初期設定の工数およびバックアップ取得時間を大幅に削減するとともに、上書きや削除ができないイミュータブル(変更不可)なファイルシステムによりバックアップデータの保護を強化しました。さらに、Rubrik Security CloudのAnomaly Detection(機械学習による異常検知)とThreat Hunting(脅威ハンティング)を活用したサイバーレジリエンスの強化を進めています。

NTTデータグループがRubrik アプライアンスを採用し、国内グループ会社およそ70社、8万ユーザーが利用するプライベートクラウドのバックアップシステムを最新化しました。バックアップ対象となるシステムは100を超え、仮想マシンは3,000に達する大規模環境です。NTTデータグループ全社の多様な社内システム整備・運用を担う同社 IT マネジメント室では、バックアップの運用管理性、性能、容量効率の向上による「データ保護の高度化」と、ランサムウェアの脅威に備える「サイバーレジリエンスの強化」を掲げバックアップシステムを刷新しました。

#### NTTデータグループ70社、8万ユーザーが使うプライベートクラウド

ITサービス企業として国内最大の事業規模を誇るNTTデータグループが、新たな成長戦略を支える全社システム/プラットフォームの強化を進めています。同社 IT マネジメント室の川戸祐介氏は次のように話します。

「NTTデータグループを取り巻く環境が変化し続ける中、IT マネジメント室が企画・開発・運用する社内システムは、DXの推進を軸に大きな進化を遂げています。私たちは全体最適を見据えながら、国内グループ会社およそ70社、8万ユーザーの業務を支えるアプリケーション群を、プライベートクラウドとパブリッククラウドによるハイブリッド環境で稼働させています」

NTTデータグループが全社統合的なプライベートクラウドを整備したのは2008年。以来、社内システムの集約は着実に進み、現在では100システム/3,000VM以上が稼働しています。

「2024年2月に『Rubrik アプライアンス』を導入し、プライベートクラウドのバックアップシステムを最新化しました。狙いは、『データ保護の高度化』と『ランサムウェア対策の強化』です。バックアップの運用管理性、性能、容量効率を向上させるとともに、インシデント発生時にビジネス影響を最小化できる環境整備を目指しました」(川戸氏)

#### 約70項目の機能要件をクリア、実機テストを経てRubrikを採用

Rubrikは、シンプルかつ直感的な操作性により世界中で支持を拡大しているバックアップアプライアンスです。上書きや削除ができない「イミュータブル(変更不可)なファイルシステム」を備え、バックアップデータに対するランサムウェア攻撃を困難にしていることが大きな特徴です。NTTデータグループは、セキュリティ機能が強化された「エンタープライズエディション」を採用しました。IT マネジメント室の貞弘響一氏は次のように話します。

「約70項目の機能要件をクリアできることを確認した後、Rubrikの実機検証を行いました。仮想マシンおよびSAN/NAS領域のバックアップ速度、リストアの手順と操作性、重複排除率、ネットワークの負荷状況などを慎重に検証したところ、それぞれ従来環境を上回る性能や効果が認められました」

貞弘氏が特に注目したのはRubrikの優れた運用管理性でした。プライベートクラウドでは年間200-300VMのペースで仮想マシンが増え続けており、新システムを立ち上げる度に仮想マシンごとにバックアップジョブを作成しなければならず、運用チームの大きな負担になっていたといいます。

「本番稼働中のシステムでは、バックアップジョブの設定はひとつのミスも許されない作業であり、複数のエンジニアによるチェックも欠かせませんでした。これに対してRubrikは、『SLAドメイン』で事前に設定したバックアップポリシーを適用するだけの簡単さです。1件あたり数十分を要していた設定の工数が実質ゼロになるなど、Rubrikは運用負荷の低減に大きく貢献してくれました」(貞弘氏)

NTTデータグループでは、Rubrikアプライアンスを第1フェーズに2ノード、第2フェーズには4ノード導入。バックアップシステムの総容量は650TBを超えています。Rubrikは仮想マシンのバックアップジョブ作成に必要な情報を自動収集し、拡大し続けるプライベートクラウド環境に対して高速かつ効率的なバックアップ取得を可能にしました。

「Rubrikの導入により、代表的なシステムで月次バックアップが最大30%、週次バックアップが最大70%高速化されました。重複排除率が80%に達していることも大きいですね。実機検証で確認されたデータ削減効果を本番環境でも維持しています。また、複数のコンポーネントで構成されていたバックアップ環境がRubrikクラスターにシンプルに統合され、バックアップシステム自体の可用性が高まったことも重要です」(川戸氏)

## 使いやすいバックアップ環境に、高度なランサムウェア対策を統合

Rubrikの最大の特徴は、モダンなバックアップソリューションであると同時に、優れたサイバーレジリエンスソリューションでもあることです。Rubrikのエンタープライズエディションを採用したNTTデータグループは、最先端のデータレジリエンス、バックアップデータに対する脅威の可視化、サイバー攻撃からの迅速なデータリカバリなど、Rubrik Security Cloudの多彩な機能をフルに利用可能です。

「私たちが示したデータ保護要件をクリアしただけでなく、サイバーレジリエンスの強化に有効であることはRubrikの圧倒的な優位性でした。特に、ランサムウェア攻撃をいち早く検知し、状況を可視化し、迅速に正常な状態に戻してビジネス影響を最小化できる機能には大きく期待しています」と川戸氏は話します。

Rubrik Security CloudのAnomaly Detection(異常検知)機能では、Rubrikが取得したバックアップのメタデータを独自の機械学習モデルが分析し、ランサムウェアにより暗号化されたシステムやファイルを高精度に検出・可視化します。Threat Hunting(脅威ハンティング)機能は、ランサムウェアにいつ侵入されたのか、感染したのがどのファイルかを明らかにし、データ復旧に使用可能なクリーンなバックアップデータを正確に特定できます。

「私たちが運用するマルチクラウド環境では、それぞれバックアップツールや手順が異なることが課題になっています。将来的には、ハイブリッド/マルチクラウド環境でバックアップ環境を統合し、使用する技術を標準化していくことが望ましいと考えています」(川戸氏)

さらに、NTTデータグループでは、自社プライベートクラウドにおけるRubrikの活用を通じて知見を蓄積し、顧客向けソリューションとして提供することを計画しています。川戸氏は次のように結びました。

「これまで様々なバックアップ製品を使用してきましたが、Rubrikならではのシンプルで洗練された使いやすさ、データバックアップという『最後の砦』を守る強力なセキュリティ機能は、幅広いお客様の課題解決に貢献できるはずです。ITマネジメント室は社内のビジネス部門とも連携しており、今回の事例をもとに、お客様へNTTデータグループとして新しい価値を提供できるものと考えています。Rubrik Japanには、実機検証や導入時に手厚いサポートを提供してもらえたことに感謝しています。これからも私たちに寄り添った技術支援を期待しています」



株式会社NTTデータグループ  
コーポレート統括本部  
ITマネジメント室  
DX推進部 システム開発担当  
課長 川戸祐介氏



株式会社NTTデータグループ  
コーポレート統括本部  
ITマネジメント室  
DX推進部 システム開発担当  
貞弘響一氏



Rubrik Japan株式会社  
<https://www.rubrik.com/ja>

ご質問・お問い合わせ  
<https://www.rubrik.com/ja/contact-sales>



ルーブリックは、インスタント・アプリケーション・アベイラビリティにより、ハイブリッド・クラウド環境における確実なリカバリやデータ検索、そしてクラウド化への対応が可能となります。市場をリードするCloud Data Management プラットフォームは、わずか数秒でセルフサービスによるアクセスや、自動的な保護ポリシーの適用、大規模なアプリケーションデータの検索や分析、さらにはランサムウェアからのリカバリなどを実現し、エンタープライズ環境におけるデータ保護やアプリケーションのさらなる活用をもたらします。

RubrikはRubrik, Inc.の登録商標です。本ドキュメント中に記載された会社名、製品名などは、各社の登録商標または商標です。